

今、何の病気が流行しているか！

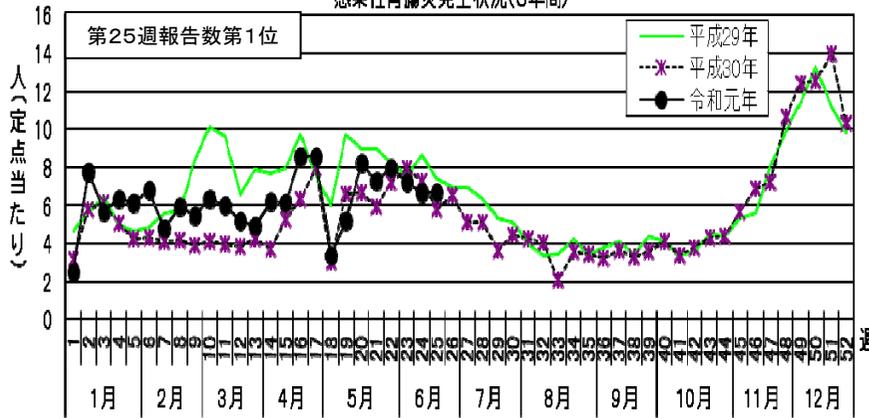
【感染症発生動向調査事業から】

令和元年6月17日（月）～令和元年6月23日（日）〔令和元年第25週〕の感染症発生状況

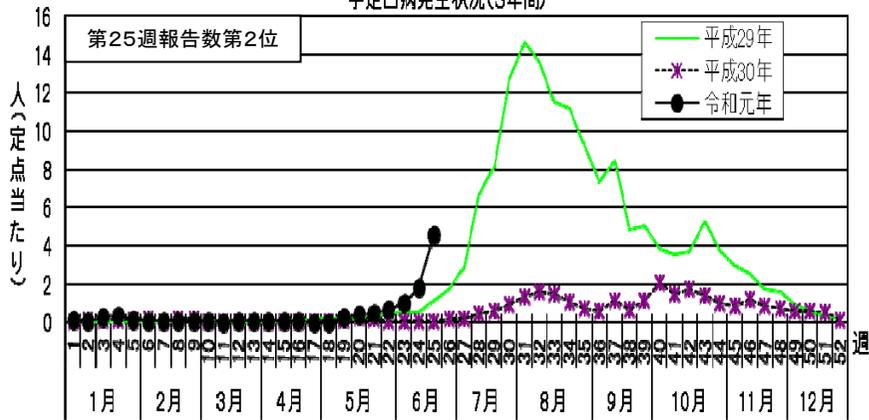
第25週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.70人と前週（6.69人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は4.57人と前週（1.81人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.78人と前週（3.25人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



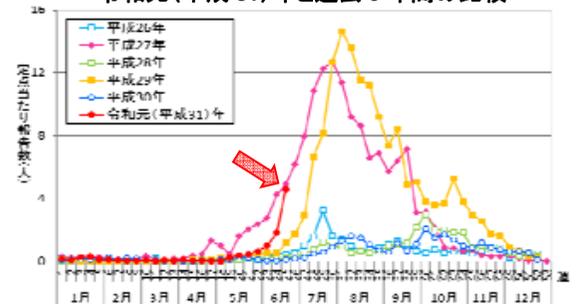
手足口病の患者が急増しています！

川崎市における手足口病の定点当たり患者報告数は、第25週（令和元年6月17日～6月23日）に4.57人となり、第23週（令和元年6月3日～6月9日）の1.00人から2週間連続で急激に増加しました。

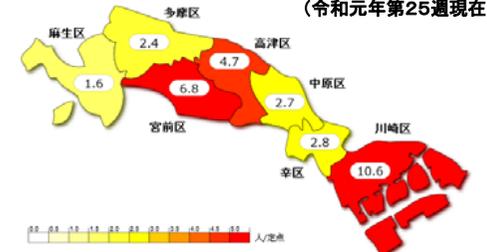
特に、川崎区と宮前区の定点当たり患者報告数が、それぞれ10.60人、6.83人と流行発生警報基準値（定点当たり5.00人）を超えており、市内の複数の保育園では集団発生も確認されています。

予防を徹底するとともに、小さいお子さんや高齢者の方は脱水に注意しましょう。

川崎市における手足口病の発生状況
—令和元(平成31)年と過去5年間の比較—



川崎市における手足口病の分布マップ
(令和元年第25週現在)



～予防と対策～

経口補水液などで
こまめに水分補給

オムツ交換などの際は
排泄物を適切に処理

流水と石けんで
十分な手洗い